

## 2012年 新社会人の意識調査

- 新社会人の7割が就職先に「満足している」
- 職場の先輩に「ジェネレーションギャップを感じる」半数  
世代差を感じるのは‘平成生まれ・ゆとり世代’と若者扱いされたとき
- 勤務時間以外の上司とのコミュニケーション「必要だと思うが負担」6割

2012年 5月 29日  
株式会社マクロミル

株式会社マクロミル（本社：東京都港区、代表取締役会長兼社長：杉本哲哉）は、2012年4月より働き始めた全国の新社会人（会社員・公務員）を対象に、「新社会人の意識調査」を実施いたしました。調査手法はインターネットリサーチ。調査期間は2012年5月10日（木）～5月11日（金）。有効回答数は500名から得られました。対象者全員が「平成生まれ」となった今年の新社会人の意識を探りました。なお、本調査は2008年から実施、今年で5回目となります。

### 【調査結果概要】

#### 【1】新社会人の7割が就職先に「満足している」

2012年度の新社会人を対象に、現在の勤務先へのどの程度満足しているか尋ねたところ、「満足」という回答が21%、「どちらかといえば満足」が49%となり、合計で70%が満足している結果となりました。職場に満足しているポイントについて尋ねると、「人間関係がよい」が最多で60%、次いで「職場の雰囲気は自分に合う」49%がトップ2でした。

「現在の勤務先の満足度（満足+どちらかといえば満足）」と「勤務先が第何希望だったか」を時系列で比較してみると、今回の満足度は70%と、2011年調査と比較すると8ポイント下降しているものの、2009年調査と同レベルになっています。一方「勤務先が第何希望だったか」をみると、第1希望は年々下降傾向にあり今回は40%と最も低くなっています。

#### 【2】職場の先輩に「ジェネレーションギャップを感じる」半数

##### 世代差を感じるのは‘平成生まれ・ゆとり世代’と若者扱いされたとき

職場の先輩たちの立ち居振る舞いを見たり、話をしているときに「ジェネレーションギャップ」を感じることもあるか尋ねたところ、「ある」と回答した人は49%と約半数を占めました。また、どのようなときにジェネレーションギャップを感じるか尋ねたところ、「平成生まれ、ゆとり世代などと若者扱いされたとき」が20%で最も多く、次いで「好きな芸能人やアイドル、昔のドラマやアニメの話題になったとき」が16%、「カラオケで懐メロなど知らない曲を聞いたり、昔の音楽の話題になったとき」が14%となっています。

#### 【3】勤務時間以外の上司とのコミュニケーション、「必要だと思うが負担」6割

社内のコミュニケーションを深めるために勤務時間以外のコミュニケーションが必要かどうか尋ねたところ、9割以上の方が「必要」と回答しました。一方で、相手が上司の場合「必要だと思うが、負担を感じる」という回答が57%、「先輩」の場合は48%、「同期入社と同僚」の場合は24%と、上司・先輩に対してのコミュニケーションに負担を感じている人も多いようです。

実際に、上司に対して勤務時間以外でどのようなコミュニケーションをとっているかを尋ねると、「昼食時に話をする」「飲みに行く」が各々34%となりました。同期入社と同僚ではそれ以外に「メール」「休日に会う」「SNSやツイッター」などの方法でコミュニケーションをとっていました。

「2012年 新社会人の意識調査」

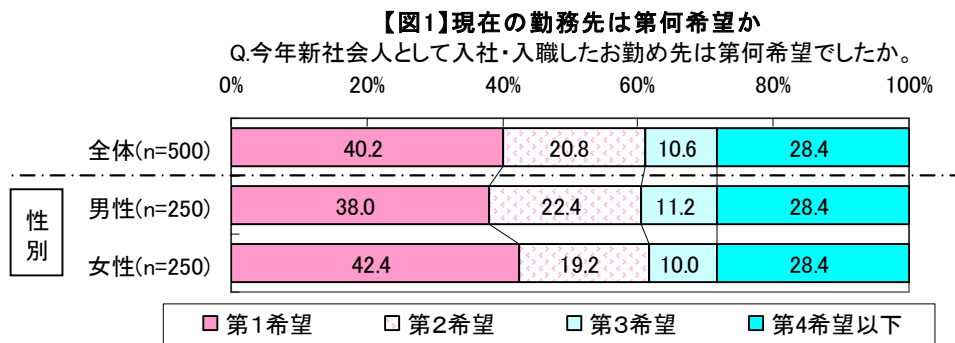
【調査結果詳細】

■ 調査概要

調査方法：	インターネットリサーチ
調査地域：	全国
調査対象：	1989年～1990年生まれで2012年に新社会人となった会社員・公務員（マクロミルモニタ会員）
有効回答数：	合計500サンプル（男性250サンプル、女性250サンプル）
調査日時：	2012年5月10日（木）～5月11日（金）
調査機関：	株式会社マクロミル

■ 現在の勤務先が、就職活動時「第一希望」だった人は40%

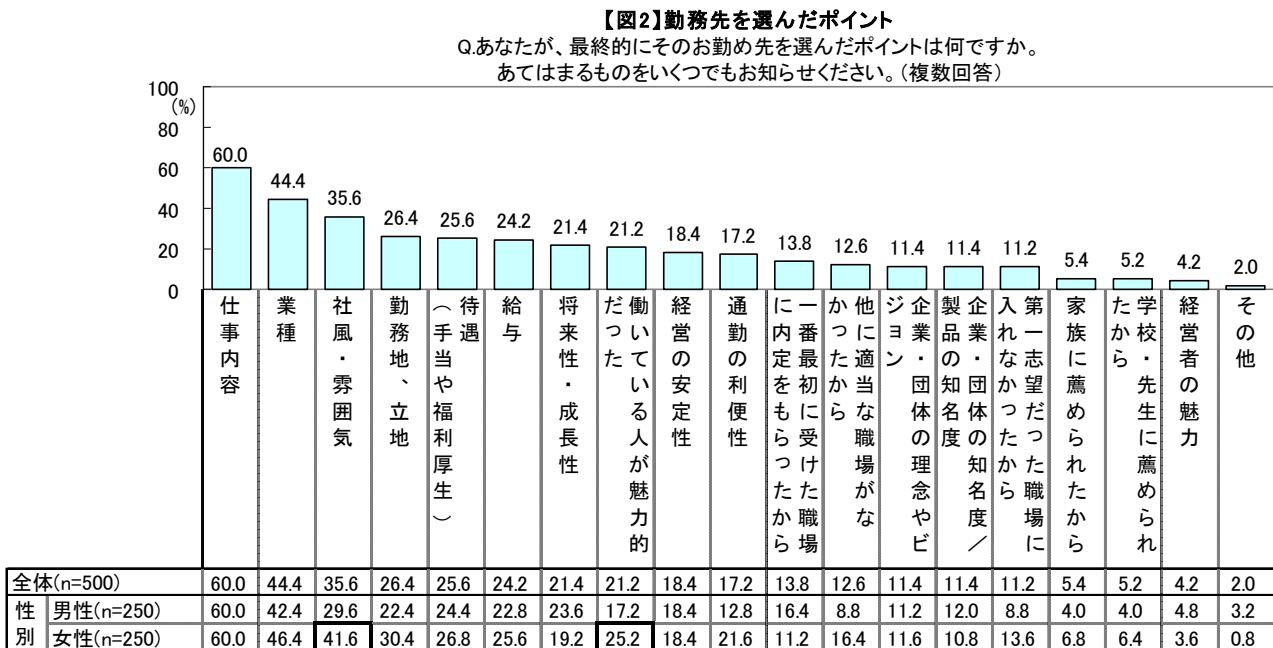
全国の新社会人に、現在の勤務先が就職活動時に第何希望だったのか尋ねたところ、「第一希望」だったと回答した人は40%、「第二希望」は21%、「第三希望」は11%、「第四希望以下」に就職した人は28%となりました。【図1】



■ 現在の勤務先を選んだポイントは、「仕事内容」が60%

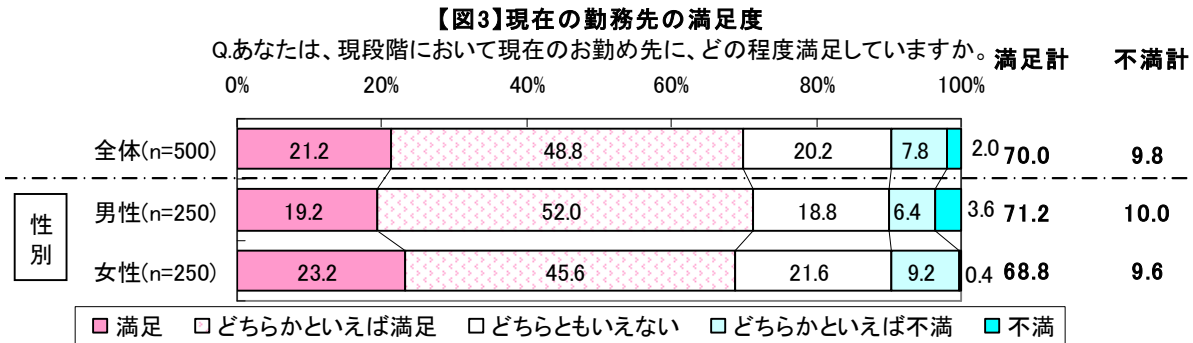
現在の勤務先を選んだポイントについて尋ねたところ、「仕事内容」が60%で最も多く、次いで「業種」が44%、「社風・雰囲気」が36%となりました。

男女別にみると、女性は男性に比べ「社風・雰囲気」が12ポイント、「働いている人が魅力的だった」が8ポイント高いことから、女性は比較的職場の雰囲気によって勤務先を選択していることがうかがえます。【図2】



■ 新社会人の7割が就職先に「満足している」

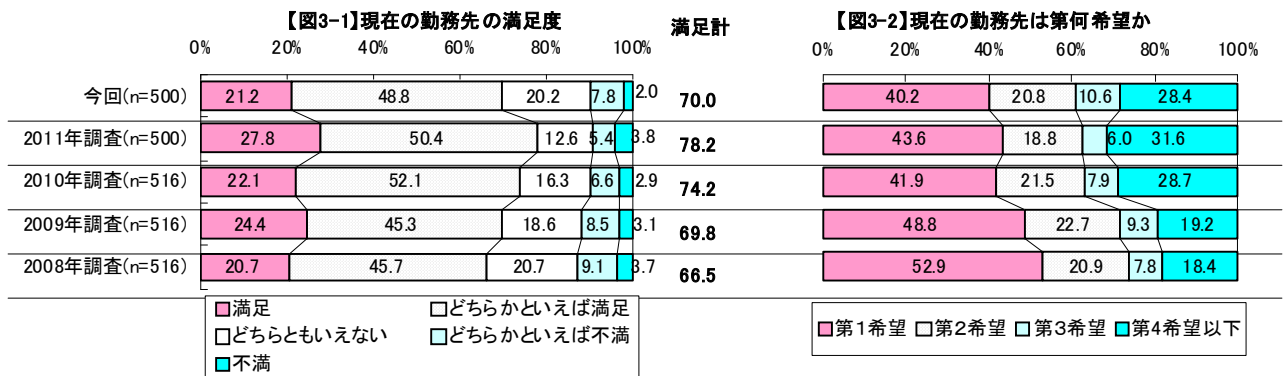
現在の勤務先に、どの程度満足しているか尋ねたところ、「満足（満足+どちらかといえば満足）している」と回答した人は70%となりました。一方、「不満（不満+どちらかといえば不満）である」と回答した人は10%でした。【図3】



「現在の勤務先の満足度（満足+どちらかといえば満足）」と「勤務先が第何希望だったか」を時系列で比較してみました。

「現在の勤務先の満足度（満足+どちらかといえば満足）」をみると、今回の満足度は70%と2011年調査と比較すると8ポイント下降しているものの、2009年調査と同レベルとなっています。一方「勤務先が第何希望だったか」をみると、第1希望は年々下降傾向にあり、今回は40%と最も低くなっています。

【図3-1】 【図3-2】



## ■ 勤務先の満足点は、「職場の人間関係が良い」「雰囲気が合う」がトップ2

現在の勤務先に満足している人に、満足している点を探ねると、「職場の人間関係が良い」が60%で最も多く、次いで「職場の雰囲気が自分に合う」が49%となりました。

男女別にみると、女性は男性に比べ「職場の人間関係が良い」「勤務先の立地が良い」「希望する仕事ができる」が10ポイント以上高くなっています。

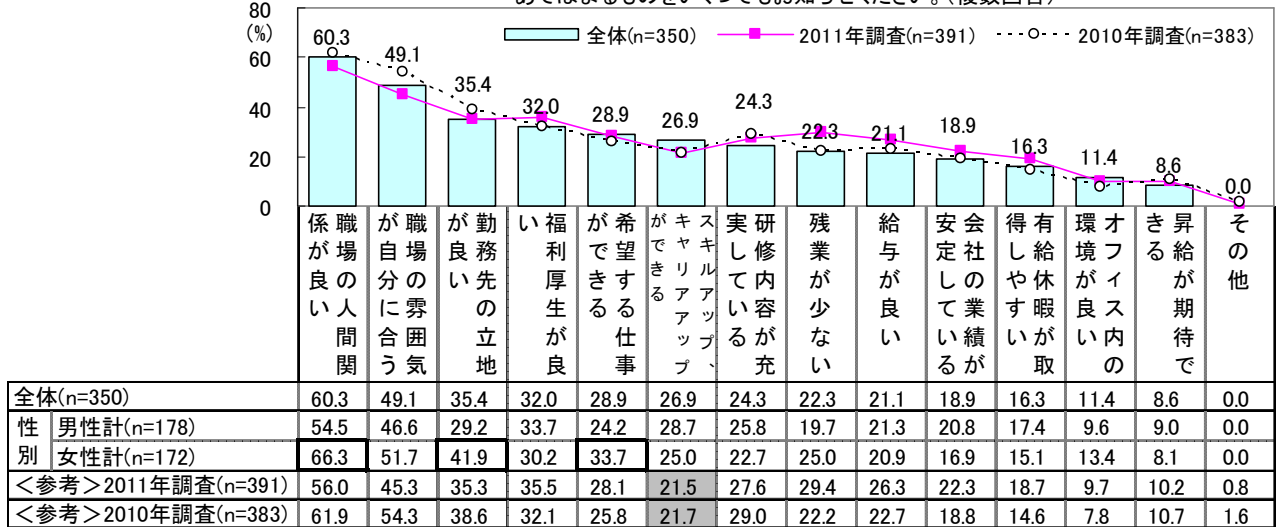
2010年、2011年調査と比較すると、全体では「スキルアップ、キャリアアップができる」が5ポイント高くなっています。【図4】

【図4】勤務先の満足ポイント

＜ベース：勤務先に「満足」もしくは「どちらかといえば満足」と回答した人＞

Q.あなたが現在のお勤め先に満足しているポイントは何ですか。

あてはまるものをいくつでもお知らせください。（複数回答）



## ■ 勤務先の不満点は、「残業が多い」「給与が少ない」がトップ2

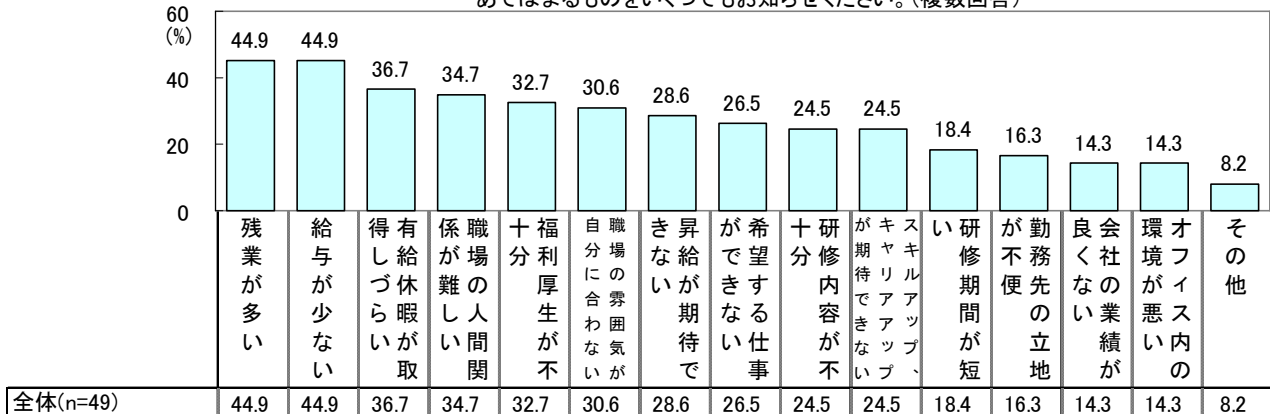
現在の勤務先に不満がある人に対して、どのような点に不満を感じているか尋ねました。その結果、「残業が多い」「給与が少ない」が各々45%となりました。残業と給与の量が満足度に影響していると見られます。【図5】

【図5】勤務先の不満ポイント

＜ベース：勤務先に「不満」もしくは「どちらかといえば不満」と回答した人＞

Q.あなたが現在のお勤め先に不満をお持ちのポイントは何かですか。

あてはまるものをいくつでもお知らせください。（複数回答）

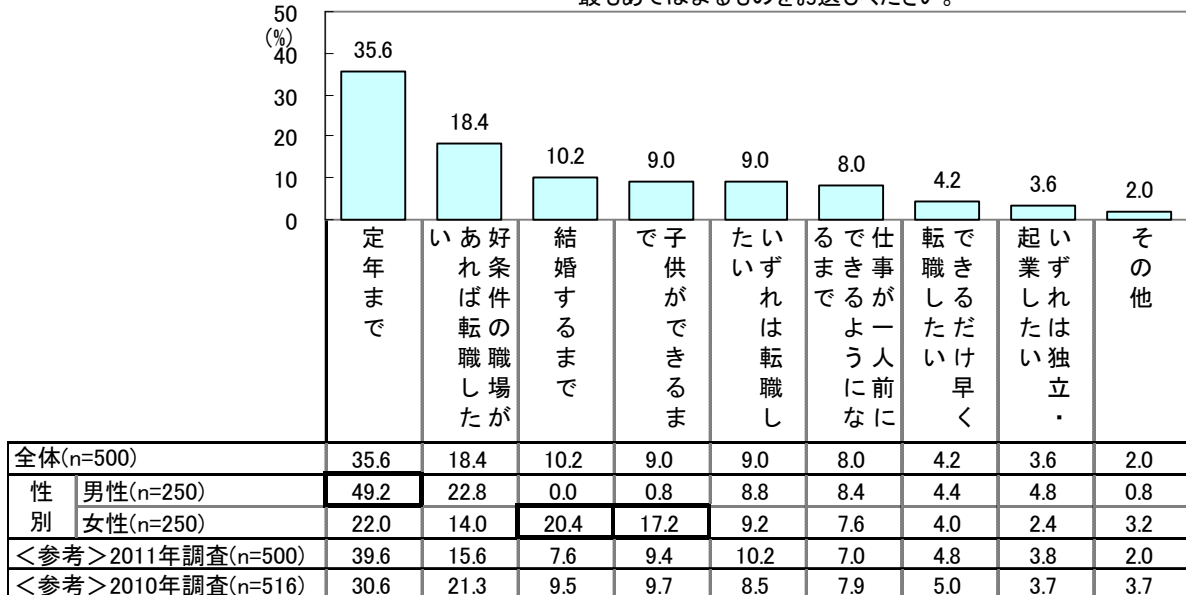


■ 現在の勤務先に「定年まで働きたい」と思う人は36%

現在の勤務先に、いつまで働きたいと思うか尋ねたところ、「定年まで」と回答した人は36%となりました。一方「好条件の職場があれば転職したい」と回答した人は18%でした。

男女別にみると、男性で「定年まで」は49%、一方女性で「結婚するまで」は20%、「子供ができるまで」は17%となっており、結婚・出産を機に退職を考えている女性は38%となりました。【図6】

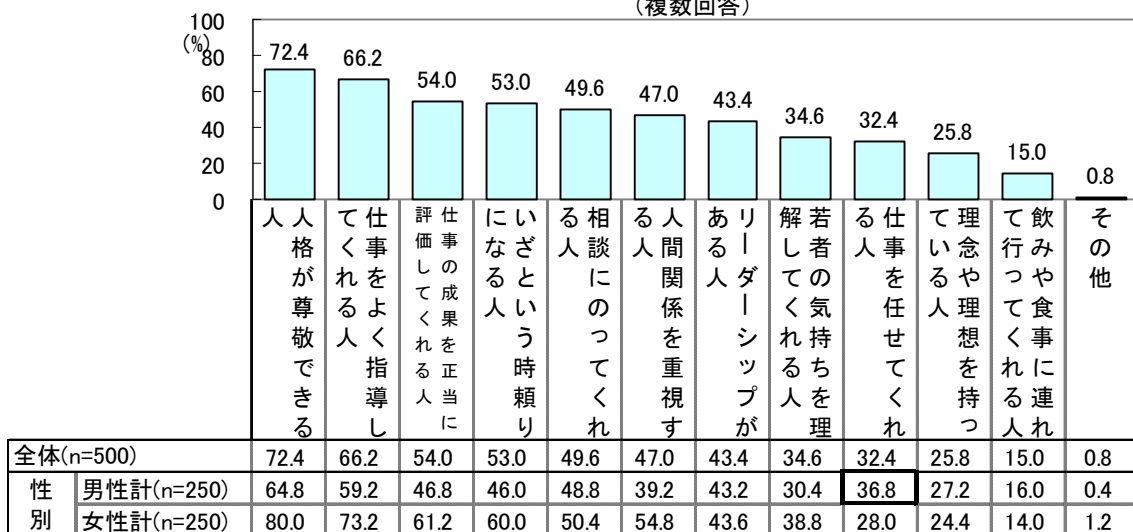
【図6】現在勤めている会社でいつまで働きたいか  
Q.あなたは、現在のお勤め先にいつまで働きたいと考えていますか。  
最もあてはまるものをお選びください。



■ 理想の上司像は「人格が尊敬できる人」72%、「仕事をよく指導してくれる人」66%

理想の上司像について尋ねてみたところ、「人格が尊敬できる人」が72%で最多となりました。次いで「仕事をよく指導してくれる人」が66%、「仕事の成果を正当に評価してくれる人」が54%となりました。男女別にみると、男性は女性に比べ「仕事を任せてくれる人」が9ポイント高くなっています。【図7】

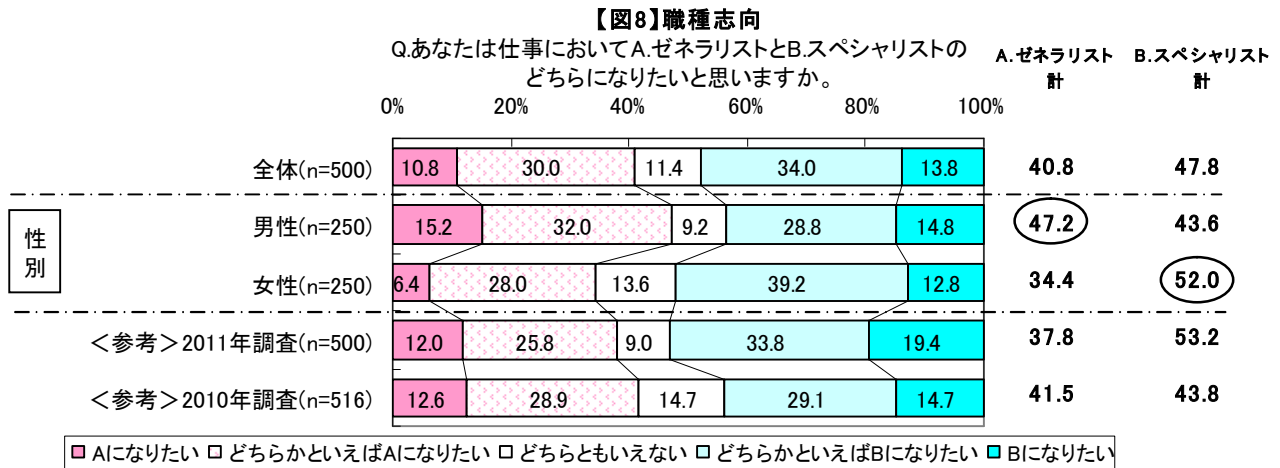
【図7】理想の上司のタイプ  
Q.あなたの上司の理想像であてはまるものをすべてお知らせください。  
(複数回答)



■ 職種志向は、「ゼネラリスト志向」41%、「スペシャリスト志向」48%

仕事において「ゼネラリスト」と「スペシャリスト」のどちらになりたいか尋ねたところ、「ゼネラリスト志向」は41%となっています。一方、「スペシャリスト志向」は48%でした。

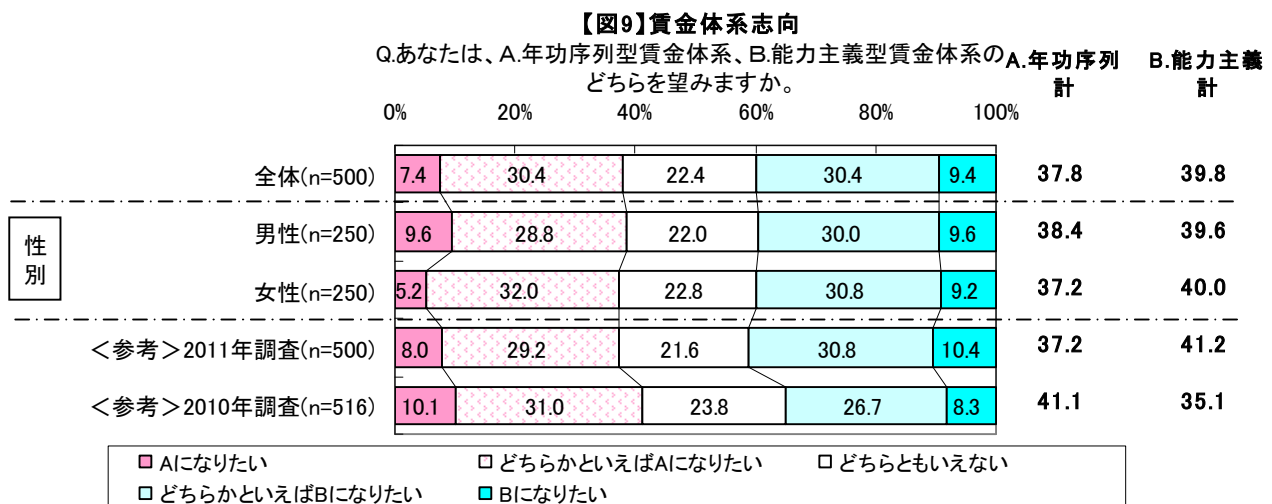
男女別にみると、男性は女性に比べ「ゼネラリスト志向」が、女性は男性に比べ「スペシャリスト志向」が各々10ポイント前後高くなっています。【図8】



■ 賃金志向：「年功序列」を望む人38%、「能力主義」を望む人40%

仕事において「年功序列型賃金体系」と「能力主義型賃金体系」のどちらを望むか尋ねたところ、「年功序列型賃金体系志向」は38%となっています。一方、「能力主義型賃金体系志向」は40%でした。

男女別にみても、男女とも「年功序列型賃金体系志向」と「能力主義型賃金体系志向」が拮抗しています。【図9】

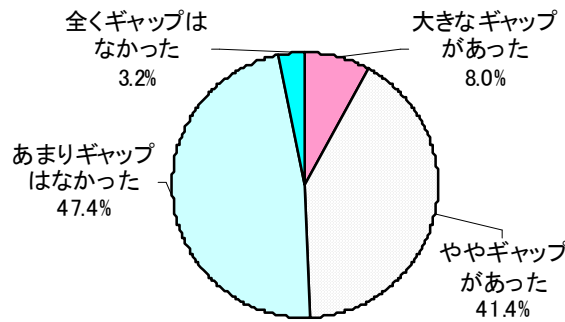


■ 半数の人が入社前後で勤め先の会社のイメージに‘ギャップがあった’と感じている

現在の勤め先に対して、入社前後でイメージのギャップがあったかどうか尋ねたところ、「ギャップがあった（大きなギャップがあった＋ややギャップがあった）」と回答した人は49%と約半数を占めました。一方、「ギャップはなかった（全くギャップはなかった＋あまりギャップはなかった）」と回答した人は51%でした。【図10】

【図10】入社前後の会社のイメージ比較(n=500)

Q.勤め先に入社・入職する前と後で、会社のイメージにギャップはありましたか。



ギャップはなかった計: 50.6%

ギャップがあった計: 49.4%

■ ギャップは「残業が多い」32%、「研修内容が不十分」27%、「給与が少ない」26%

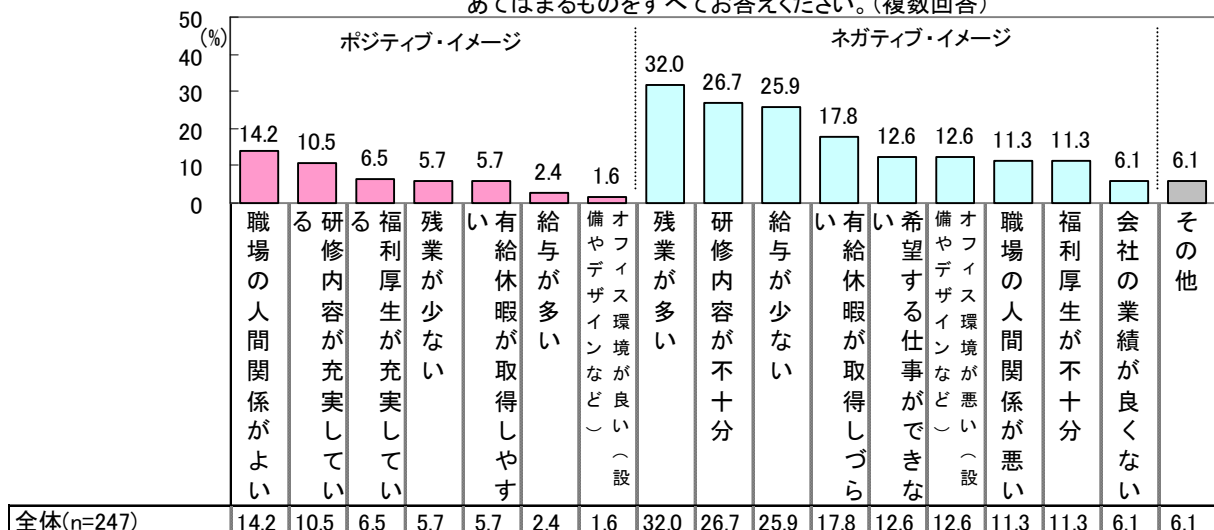
現在の勤め先に対してギャップがあったと回答した人に対し、どのようなギャップであったか尋ねたところ、「残業が多い」が32%で最も多く、次いで「研修内容が不十分」が27%、「給与が少ない」が26%となっており、上位3位はいずれもネガティブなイメージとなっています。一方、ポジティブなイメージで最も多いのは、「職場の人間関係がよい」が14%で最も多くなっています。【図11】

【図11】勤め先に感じたギャップ

<ベース:勤め先にギャップを感じている人>

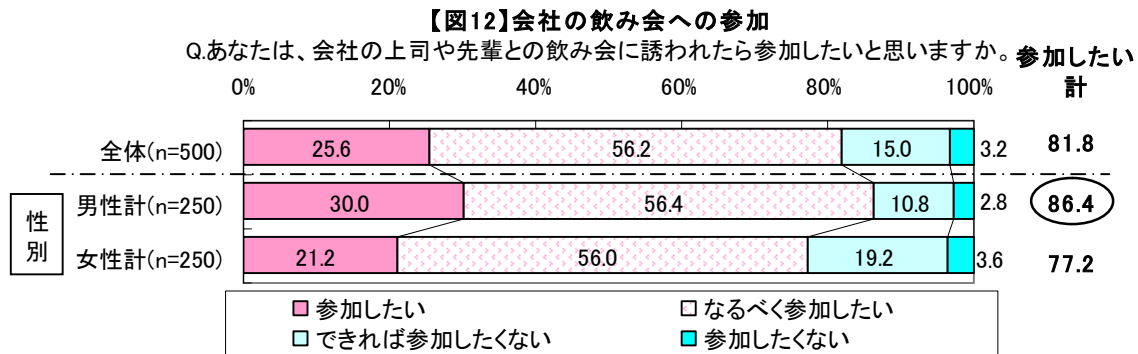
Q.お勤め先に対して感じたギャップはどのようなことですか。

あてはまるものをすべてお答えください。(複数回答)



## ■ 新社会人の8割強は、上司や先輩との飲み会に参加したい

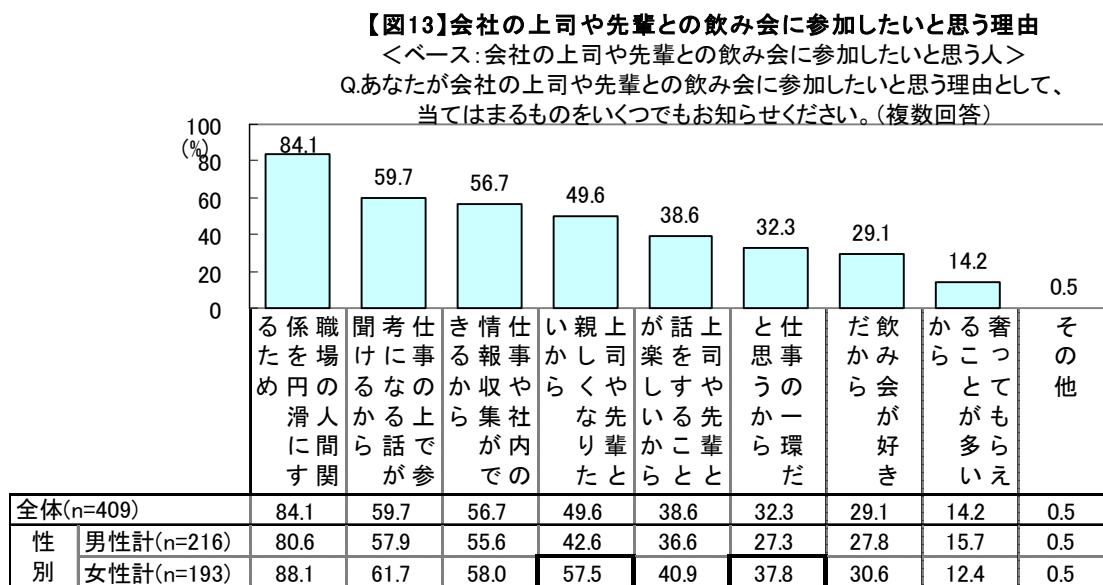
会社の上司や先輩から飲み会に誘われたら、どの程度参加したいと思うか尋ねたところ、「参加したい（参加したい+なるべく参加したい）」と回答した人は82%となっています。一方、「参加したくない（できれば参加したくない+参加したくない）」と回答した人は18%となっています。【図12】



## ■ 会社の飲み会に参加したい理由は、「職場の人間関係を円滑にするため」が84%で最多

会社の上司や先輩との飲み会に参加したいと回答した人に、参加したいと思う理由を尋ねたところ、「職場の人間関係を円滑にするため」が84%で最も多く、次いで「仕事の上で参考になる話が聞けるから」が60%、「仕事や社内の情報収集ができるから」が57%となりました。

男女別にみると、ほとんどの項目で女性は男性に比べ高く、特に「上司や先輩と親しくなりたいから」「仕事の一環だと思うから」では10ポイント以上高くなっています。女性は男性に比べ飲み会に対する目的意識が高いようです。【図13】





■ 会社の上司や先輩との飲み会に参加したくない理由は、「プライベートの時間を大切にしたいから」が最多で55%

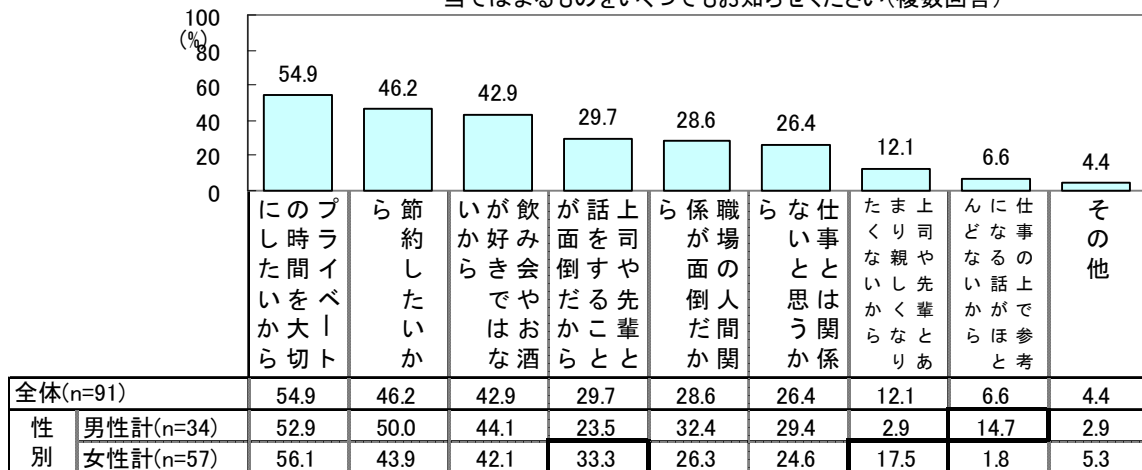
会社の上司や先輩との飲み会に参加したくないと回答した人に、参加したくないと思う理由を尋ねたところ、「プライベートの時間を大切にしたいから」が55%で最も多く、次いで「節約したいから」が46%、「飲み会やお酒が好きではないから」が43%となりました。

男女別にみると、男性は女性に比べ「仕事の上で参考になる話がほとんどないから」が15%と、女性に比べ13ポイント高くなっています。一方、女性は男性に比べ「上司や先輩と話をすることが面倒だから」「上司や先輩とあまり親しくなりたくないから」が10ポイント以上高くなっています。【図14】

【図14】会社の上司や先輩との飲み会に参加したいと思わない理由

<ベース:会社の上司や先輩との飲み会に参加したいと思わない人>

Q.あなたが会社の上司や先輩との飲み会に参加したいと思わない理由として、当てはまるものをいくつかもお知らせください(複数回答)



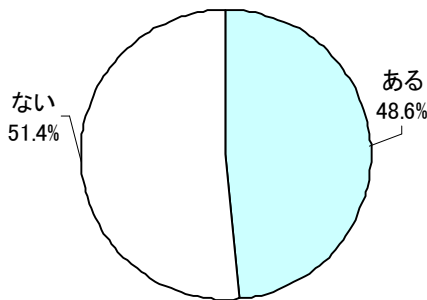
■ 職場の先輩に「ジェネレーションギャップを感じる」半数  
「30代以上」からジェネレーションギャップを感じる人は37%

職場の先輩たちの立ち居振る舞いを見たり、話をしているときに「ジェネレーションギャップ」を感じることもあるか尋ねたところ、「ある」と回答した人は49%と約半数を占めました。【図15】

さらにジェネレーションギャップを感じている人に、何十代以上からジェネレーションギャップを感じるか尋ねたところ、「30代以上」が37%、「40代以上」が41%となっています。【図16】

【図15】ジェネレーションギャップを感じることもあるか(n=500)

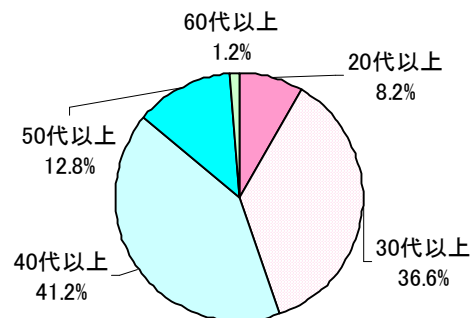
Q. あなたは、職場の先輩たちの立ち居振る舞いを見たり、話をしているときに「ジェネレーションギャップ」を感じることはありますか。



【図16】入社前後の会社のイメージ比較(n=243)

<ベース:ジェネレーションギャップを感じている人>

Q. 「ジェネレーションギャップ」を感じる対象は、何十代以上からですか。



■ 世代差を感じるのは‘平成生まれ・ゆとり世代’と若者扱いされたとき

ジェネレーションギャップを感じている人に、どのようなときにジェネレーションギャップを感じるか尋ねたところ、「平成生まれ、ゆとり世代などと若者扱いされたとき」が20%で最も多く、次いで「好きな芸能人やアイドル、昔のドラマやアニメの話題になったとき」が16%となっています。

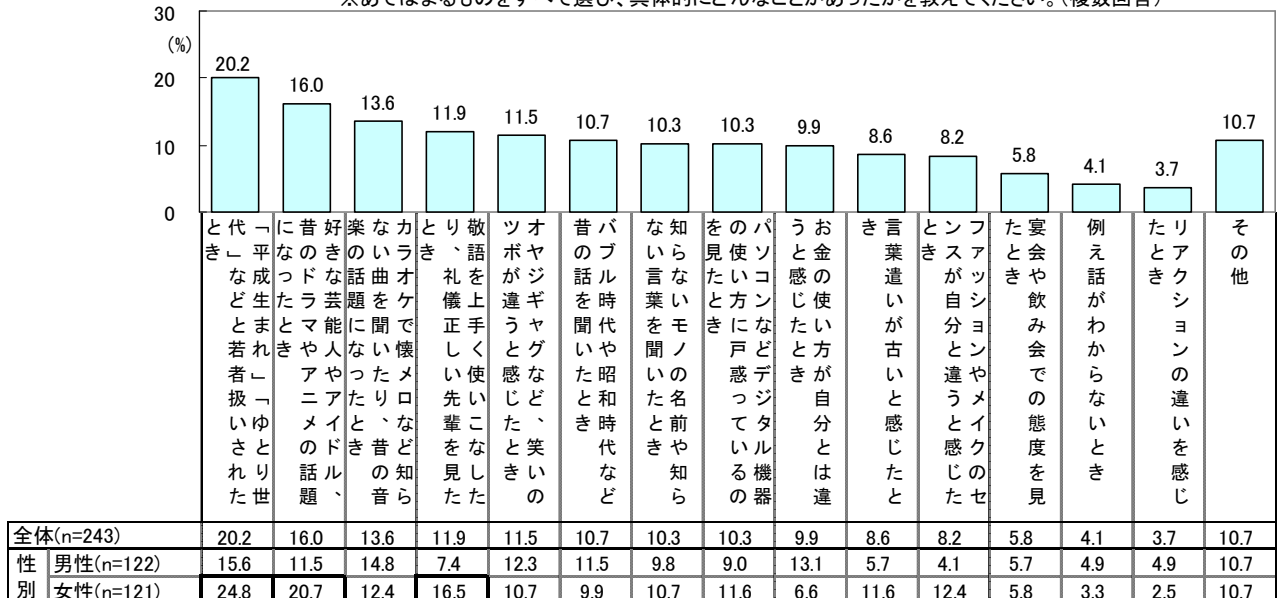
男女別にみると、女性は男性に比べ「平成生まれ、ゆとり世代などと若者扱いされたとき」「好きな芸能人やアイドル、昔のドラマやアニメの話題になったとき」「敬語を上手く使いこなしたり、礼儀正しい先輩を見たとき」で9ポイント高くなっています。【図17】

【図17】ジェネレーションギャップを感じるとき

<ベース:ジェネレーションギャップを感じている人>

Q. 「ジェネレーションギャップ」を感じたのは、どのようなときですか。

※あてはまるものをすべて選び、具体的にどんなことがあったかを教えてください。(複数回答)



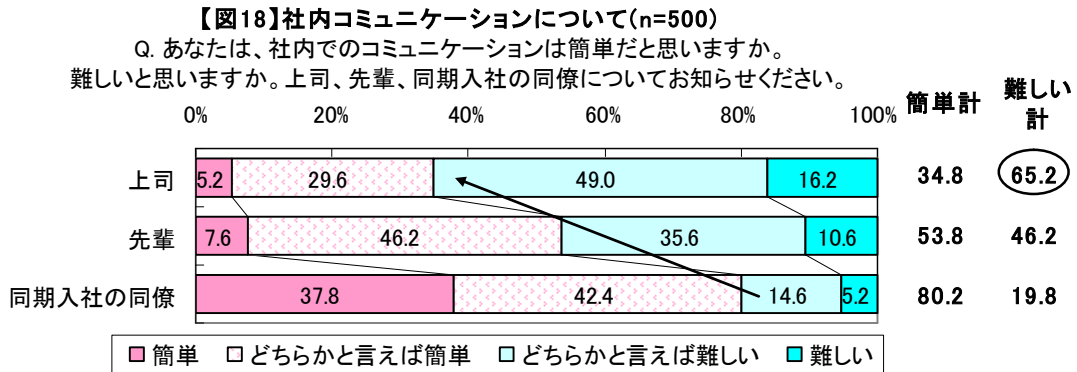
ジェネレーションギャップを感じた具体例として、「頼まれたことを、時間内に終わらせることができなかつたときに、ゆとり世代だから仕方ないかと嫌味を言われた」「私は電話対応でしどろもどろだけれど、年上の人たちが電話対応で何を言われてもきちっと対応しているのを見たとき」など様々な意見が寄せられました。【図17-1】

【図17-1】ジェネレーションギャップを感じた具体例

「平成生まれ」「ゆとり世代」などと若者扱いされたとき		性別
怒られるときに、ゆとり世代と呼ばれること		男性
頼まれたことを、時間内に終わらせることができなかつたときに、ゆとり世代だから仕方ないかと嫌味を言われた		女性
平成生まれか〜とすみじみ言われるとき		女性
ローマ字の筆記体が書けないことを「ゆとり」と言われた		女性
ゆとりだから楽に生きてきたんでしょと言われたとき		女性
「平成生まれ?若い!」と言われる時。昭和と平成の間には、壁があるのかと思う		女性
「最近の子はゆとり世代で甘い」と良く言われます		女性
好きな芸能人やアイドル、昔のドラマやアニメの話題になったとき		
北の国からの話をされたとき、キャラクターなどはわかるが話の内容にまではついていけなかつた		男性
女優の小泉今日子の話になったときに、小泉さんが歌手として出した曲の話についていけなかつた		女性
筋肉マンのバッファローマンを知らなかつた。スマップの辞めた人の名前を知らなかつた		女性
シティハンターの話についていけなかつた。わからなかつた		女性
オトコゴミ(ジャニーズ)の話でまわりが盛り上がっていてもわからなかつた		女性
カラオケで懐メロなど知らない曲を聞いたり、昔の音楽の話題になったとき		
AKBを知らない		男性
90年代の曲の話についていけなかつた		男性
自分なりに気を遣って、両親が好きな音の歌を唄うと喜んでもらえる		女性
演歌とかサビのみかろうじで聞いたことがある曲ばかり		女性
敬語を上手く使いこなしたり、礼儀正しい先輩を見たとき		
落ち着いて電話対応をし、伝言ミスなどが無い姿を見て自分はまだまだだなと感じた		女性
物凄く安定感があり、私のごちない敬語とは全く違うとき		女性
私は電話対応でしどろもどろだけれど、年上の人たちが電話対応で何を言われてもきちっと対応しているのを見たとき		女性
学生であった自分にはすぐに真似できない、すらすらとした敬語を話していた		女性
オヤジギャグなど、笑いのツボが違うと感じたとき		
大塚商会のCM的なギャグを言われたとき		男性
冗談で言っているのが本気で言っているのかわからず、笑うべきなのかわからないのか迷うことがある		男性
下ネタで笑わせようとする		男性
コマネチは古い		女性
バブル時代や昭和時代など昔の話を聞いたとき		
貯金のことを考えずに毎日のように飲み歩いてきたなどの話を聞いたとき		男性
俺たちの頃(バブル時代)は就活楽だったと言われたとき		男性
夜はクラブに行き、しょっちゅうナンパされたという話を聞いたが、そもそもクラブがどういうものかよく分からなかつた		女性
バブル時代はお金に困ったことがなかつた。女性はみんな男性がおごってくれる		女性
あの時代は、とよく聞くと想像できない		女性
知らないモノの名前や知らない言葉を聞いたとき		
野球の話になったが、知らない選手の名前しか出てこなかつた		女性
マドラスチェックという柄を知らなかつた		女性
パソコンなどデジタル機器の使い方に戸惑っているのを見たとき		
スマホの使い方を聞かれたとき		男性
Word、Excel等の使い方を理解していない年配社員が多い		男性
エラーになると騒ぐ		女性
お金の使い方が自分とは違うと感じたとき		
接待のゴルフに時間もお金もつき込んでいること		男性
飲み会終わりに徒歩十分程度でもタクシーを使う		男性
お金の使い方が派手である。さすがバブル時代を経験してきた人間は違うなと感じた		男性
化粧品にかけられるお金が多い		女性
これ置いてくから!と何万か置いて飲み会を先に帰った先輩		女性
言葉遣いが古く感じたとき		
ナウい		男性
鼻血ぶーと言った先輩がいたときに感じた		女性
驚き桃の木さんしょの木		女性
ニートをブー太郎と言ったとき		女性
ファッションやメイクのセンスが自分と違うと感じたとき		
首元から下着が見えるような着方をしているのを見かけたとき		男性
スポーツウェアが違った		男性
眉の書き方が違う		女性
ブランド品の話とかで周りが盛り上がっていたが話題についていけなかつた		女性
スカートが膝より少し上くらいでも短すぎると言っていたのを聞いたとき		女性
アイラインを注意された		女性
「若い頃はアイメイク中心だったけど、年を取ると肌をいかに白く見せるかに必死だよ」と言われた		女性
宴会や飲み会での態度を見たとき		
乾杯の後の拍手、宴会後の一本締め		男性
楽しく飲みたいのに仕事の話ばかりするとき		男性
お酒を注ぐタイミングなどが完璧だと感じるとき		男性
熱くなって語りだすところ		女性
日本酒を飲む人が多い		女性
リアクションの違いを感じたとき		
上司のつまらないギャグにも笑っている先輩を見たとき		男性
同年代は「うける」と手をたたいて笑うけれど、年上の人たちは「おもしろ〜い」と言って口を隠して笑う		女性

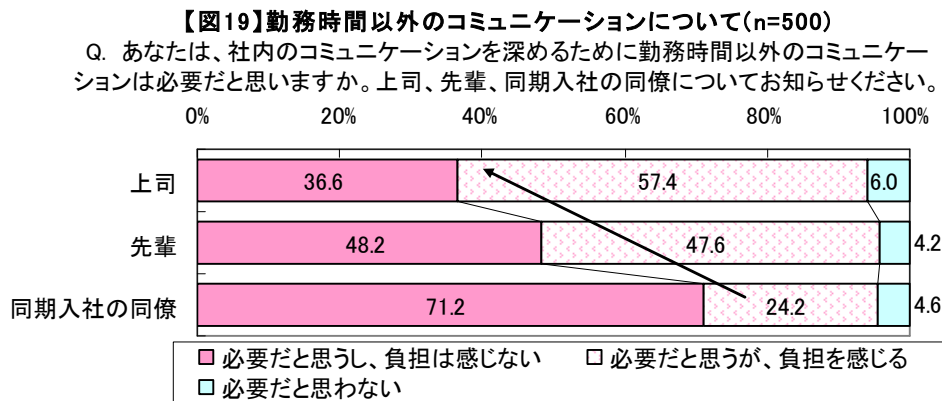
■ 「上司」では65%、「先輩」では46%、「同期入社と同僚」でも20%の人が社内コミュニケーションが「難しい」と回答

社内コミュニケーションが簡単か難しいか尋ねたところ、「難しい（どちらかと言えば難しい+難しい）」と回答した人は、「上司」で65%、「先輩」で46%、「同期入社と同僚」で20%となっており、相手の立場が上位になるほど社内コミュニケーションが難しいと感じているようです。【図18】



■ 勤務時間以外の上司とのコミュニケーション「必要だと思うが負担」6割

社内のコミュニケーションを深めるために、勤務時間以外のコミュニケーションが必要かどうか尋ねたところ、相手が上司、先輩、同期入社と同僚に関係なく9割以上の方が「必要」と回答しています。一方「必要だと思うが、負担を感じる」と回答した人は、「上司」で57%、「先輩」で48%、「同期入社と同僚」で24%と、相手の立場が上位になるほど負担を感じているようです。【図19】

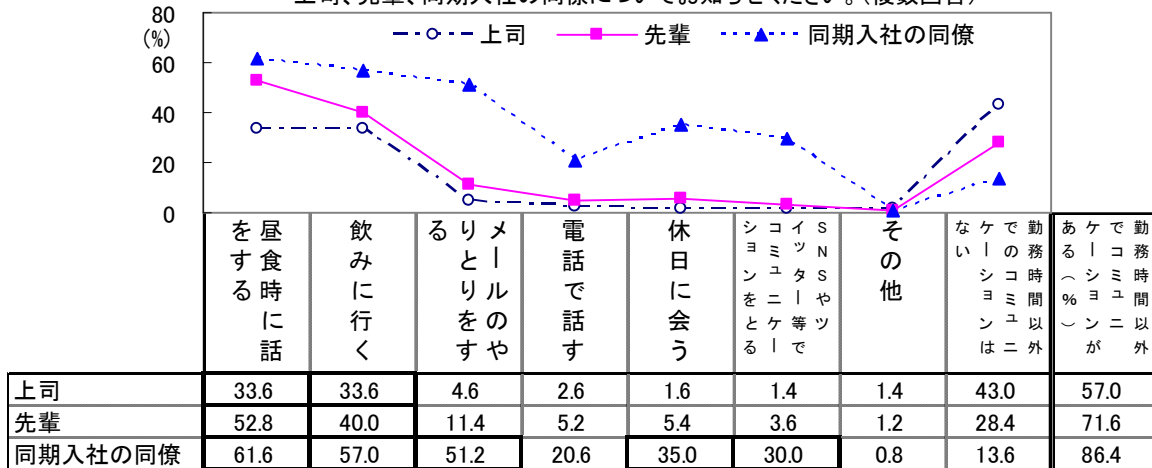


■ 上司に対して、勤務時間以外のコミュニケーションをとる人は57%  
先輩に対しては72%、同期入社と同僚は86%

勤務時間以外でどのようなコミュニケーションをとっているか尋ねたところ、上司、先輩に対しては「昼食時に話をする」「飲みに行く」が多く、同期入社と同僚ではそれ以外に「メールのやりとりをする」「休日に会う」「SNSやツイッター等でコミュニケーションをとる」などの方法によって勤務時間以外でコミュニケーションをとっているようです。

勤務時間以外に上司に対しては57%、先輩に対しては72%、同期入社と同僚に対しては86%の人がコミュニケーションをとっているようです。【図20】

【図20】勤務時間以外のコミュニケーションについて  
Q.あなたは、勤務時間以外で社内の人とコミュニケーションをとっていますか。  
上司、先輩、同期入社と同僚についてお知らせください。(複数回答)



【 株式会社マクロミル 会社概要 】

株式会社マクロミルは、さまざまな企業の商品やサービス等に対する消費者の声を、インターネットを活用して瞬時に集めるインターネット市場調査会社です。

国内100万人を超えるマクロミルモニタを調査対象として迅速なネットリサーチを行う「QuickMill」のほか、携帯電話を活用したモバイルリサーチ「MobileMill」、世界各国の消費者を対象にした海外市場調査「GlobalMill」などさまざまなネットリサーチサービスを展開しています。

社名 ■株式会社マクロミル  
 本社 ■東京都港区港南2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
 URL ■www.macromill.com  
 設立 ■2000年1月31日  
 資本金 ■16億3,994万円 ※2012年5月1日現在  
 上場取引所 ■東証一部（証券コード：3730）  
 代表者 ■代表取締役会長兼社長 杉本哲哉  
 従業員数 ■583名 ※2012年4月末現在  
 事業内容 ■インターネットを活用した市場調査（ネットリサーチ）

本件に関するお問い合わせ先

株式会社マクロミル 広報室：横田・高橋  
 東京都港区港南 2-16-1 品川イーストワンタワー11F 〒108-0075  
 TEL:03-6716-0707 FAX:03-6716-0701 E-mail:press@macromill.com

《 引用・転載時のクレジット表記のお願い 》

本リリースの引用・転載の際は、必ずクレジットを明記していただきますようお願い申し上げます。調査結果のグラフ・表をご利用の場合は、データ部分に当社クレジットの掲載をお願い致します。

<例> 「インターネット調査会社のマクロミルが実施した調査結果によると・・・」

